

2. 就業希望者－「適当な仕事がありそうにない」ため求職意欲が低下したとみられる者－

○ 調査期間中に仕事についておらず、仕事を探す活動をしなかった者は、完全失業者とはなりません。

したがって、仕事をしたくても、経済情勢などから仕事が見つかりそうもないので仕事を探していなかったという人は、完全失業者の3要件（ILO基準）を満たしていないため完全失業者ではなく、非労働力人口に区分されます。

○ このような状態の人々の動向を把握する観点から、詳細集計の結果から、いわゆる「適当な仕事がありそうにない」ため求職意欲が低下したとみられる者^{※3}をみると、平成20年7～9月期平均結果では36万人で、完全失業者(266万人)に対して1割強(13.5%)となっています。

就業状態別 15歳以上人口及び非労働力人口における就業希望の状況
(労働力調査詳細集計平成20年7～9月期平均結果)

就業者 6392万人									
完全失業者 266万人	<ILO基準の完全失業者の3要件に該当> ・仕事についていない ・仕事があればすぐつくことができる ・仕事を探す活動をしていた								
非労働力人口 4372万人	<table border="1"> <tr> <td>うち 就業希望者</td> <td>450万人</td> </tr> <tr> <td>うち 仕事を探す活動をしなかったのは「適当な仕事がありそうにない」ためである者</td> <td>148万人</td> </tr> <tr> <td>うち 仕事があればすぐつくことができる</td> <td>53万人</td> </tr> <tr> <td>うち 調査期間中は仕事を探す活動をしなかったが、過去1年間に仕事を探す活動をした</td> <td>36万人</td> </tr> </table>	うち 就業希望者	450万人	うち 仕事を探す活動をしなかったのは「適当な仕事がありそうにない」ためである者	148万人	うち 仕事があればすぐつくことができる	53万人	うち 調査期間中は仕事を探す活動をしなかったが、過去1年間に仕事を探す活動をした	36万人
うち 就業希望者	450万人								
うち 仕事を探す活動をしなかったのは「適当な仕事がありそうにない」ためである者	148万人								
うち 仕事があればすぐつくことができる	53万人								
うち 調査期間中は仕事を探す活動をしなかったが、過去1年間に仕事を探す活動をした	36万人								

- ※3 「適当な仕事がありそうにない」ため求職意欲が低下したとみられる者
 …ここでは、「就業者」及び「完全失業者」に該当せず、以下の4つの要件に該当する者とした
 ①調査期間中に仕事についておらず、仕事を探す活動をしなかったが、就業を希望している
 ②仕事を探す活動をしなかったのは適当な仕事がありそうにないため
 ③仕事があれば、すぐつくことができる
 ④調査期間中には仕事を探す活動をしなかったが、過去1年間に仕事を探す活動をしたことがある

表2 「適当な仕事がありそうにない」ため求職意欲が低下したとみられる者の完全失業者に対する割合

	非労働力人口	「適当な仕事がありそうにない」ため求職意欲が低下したとみられる者 ①	完全失業者 ②	完全失業者に対する割合 [①÷②] (%)
平成19年10～12月期	4370	33 (-3)	249	13.3
平成20年1～3月期	4455	32 (-8)	263	12.2
4～6月期	4313	37 (3)	270	13.7
7～9月期	4372	36 (2)	266	13.5

() は対前年同期増減

(平成21年5月19日一部改訂)